

韮中だより

11月 華

令和5年11月30日発行

地域と共に ～地域を学び地域を考える～

総合的な学習では、3年間を通して韮山や伊豆の国市の文化や歴史、産業を学び、体験し、地域の特長や課題を捉えて、地域の未来を考えます。そして、学校と地域が共に子供たちを育てていきます。今年度も、多くの方にご協力いただき、様々な講座や体験学習を行っています。

【1年 地域学習】

市文化財課や協働まちづくり課の職員の方などを講師に招き、歴史や文化、産業についてお話を伺いました。また、キョウデンプレシジョンの方から、癒やしのための家族型ロボット「ラボット」を7台用意していただき、企業としての取組を説明していただきました。市内の産業について学び、観光や農業はもちろん、様々な産業があることを知ることができました。



【2年 社会体験学習・進路説明会】

2年生の社会体験学習では、県中部の企業や県庁、海上保安部などを学級別に見学し、様々な商品を生産する企業の努力や、社会を支える公的機関の役割について学び、進路学習に生かすことができました。また、進路説明会では、公立高と私立高それぞれ1校の先生をお招きし、将来を考えながら進路を選択することの大切さを知ることができました。



【3年 地域への提言】

3年生は、総合的な学習の時間に、3年間の学習をもとに地元の伊豆の国市の未来について考え、これからの伊豆の国市について、各グループで提言を行いました。協働まちづくり課職員の方5名をアドバイザーとしてお招きし、各グループの提言について講評していただきました。



【7・8組 芋の収穫・職場見学】

7・8組は、もくせい苑の方と一緒に植えたさつまいもが大きく実り、収穫作業を行いました。説明をしっかりと聞いて丁寧に掘ることができました。また、8組は職場見学を行い、将来働くことについて意欲を高めることができました。



学校評議員会・学校関係者評価委員会

11月6日(月)に、第2回学校評議員会及び学校関係者評価委員会を行いました。8名の学校評議員・学校関係者評価委員の方に、授業を参観していただくとともに、ここまでの学校運営に関して、様々なご意見をいただきました。後期の学校づくりに生かしていきたいと思っております。

<主なご意見>

- ・生徒が集中して授業を受けており、落ち着いた学校生活を送っていることが分かる。
- ・学期末の生徒アンケートの「みんなで何かをするのが楽しい」「友達の考えを聞き、自分の考えを持つように心がけている」「授業に主体的に取り組んでいる」という項目では、8～9割の生徒が「そう思う・ややそう思う」と答えているが、その他の1～2割の生徒のために手立てや支援を行っていくことが大切である。
- ・すべての教員の、ICT機器の活用スキルを高めていきたい。
- ・視力や虫歯の治癒率を高めるために、生徒や保護者への治療の呼び掛けを工夫したい。

生徒総会

11月21日(火)に、生徒総会が開かれました。今年度は体育館に全校生徒が集まり、議題「全員が本当の笑顔になるためには」について、学級での話し合いをもとに討議を行いました。

生徒は、笑顔のためには「自分の発言を否定しない」「みんなが安心して言葉を交わすことができる」「違いを認め合う」ということが大切だということ意見が出され、これからの学校生活の中で、後期生徒会テーマ「輝笑」にむけて全校生徒で取り組んでいくことになりました。



わたしの主張発表大会・市町対抗駅伝壮行会



11月25日(土)に、「伊豆の国市わたしの主張発表大会」及び「しずおか市町対抗駅伝壮行会」が、時代劇場にて開催されました。

「わたしの主張発表」では、2年の寺村さんがジェンダー平等についての主張発表を行いました。また、2年の鈴木さんと渡邊さんが司会進行を務めました。駅伝壮行会では、本校の関野さん、三橋さん、鍵山さんの3名を含む21名の選手にむけて激励の言葉が贈られました。この中から12名が、12月2日(土)の大会に出場します。



花の植え替え(環境委員会・花の会)

11月21日(火)に、環境委員会が花壇の苗の植え替えを行いました。花の会の皆様にもお手伝いいただき、スムーズに作業することができました。ご協力ありがとうございました。

